



2008.5.13

2007-2008 25号
合併号 I

高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 三井田 賢一 幹事 / 水上 勝之 会報委員長 / 竹内 慎昌

2007-2008 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

ロータリーは
分かちあいの心

2007-2008 クラブテーマ **ロータリーを磨こう、
そして一歩向上しよう!**

- 本日の例会 会長の日(ロータリーの友記事紹介)
・5月の誕生会(会員、会員夫人合同)
- 次回例会予定 20日(火) 次年度委員長予定者会議
- 4月1日(火)高崎セントラルロータリークラブ例会報告
- 来訪者 金子 秀隆君(高崎シンフォニーRC)
- ロータリーの友・雑誌の日



雑誌担当 吉村修二君
4月は雑誌月間です、雑誌「ロータリーの友」は例会出席が義務のと同様に読む事が義務となっています。毎月会長の日(第一例会日)に私、雑誌委員長が記事の紹介をしていますが、会員皆さんは読んでいますか? 雑誌委員長のひとりごと。

ロータリーの友の歩み

新しい雑誌の発行が決定

1952(昭和27)年4月に開催された第60区の大会で、新しい雑誌をつくることになりました。7月に迎える新年度(1952-53年度)から、日本の地区が、東日本と西日本の2つに分割されることに決定されていたので、この地区大会は特別なものでした。

ここで、いくつかの問題が話し合われ、決められましたが、その中に、日本の2地区で共通の雑誌を発行することの決定がありました。これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有化するための機関誌として、新しい雑誌が企画されたのです。

その後、何回か会合がもたれ、さまざまなことが話し合われましたが、新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められるのは、同年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。『ロータリーの友』という名前もこのときに決まりました。～中略～

創刊は1953(昭和28)年の1月号です。最初、横組みでスタートした『ロータリーの友』ですが、その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、また、縦組みの方が読みやすい内容のものもあり、これらを縦組みで入れることになりました。ページを開くと、横組みの中に突然縦組みのページが出てきて読みにくいということで、1972(昭和47)年1月号から、左から開けると横組み、右から開くと縦組みの現在のよう形になりました。

その後1年間の試験期間を経て、国際ロータリー(RI)公式地域雑誌(現、ロータリー地区雑誌)になりました。現在では、インターネットを活用して『ロータリーの友』のホームページを開設して、メディアの特性を生かしたコンテンツを入れ、印刷物である『ロータリーの友』と共存、住み分けをして、日本のロータリアンの人たちにより早く、より幅広く、より便利に情報が届けられています、『ロータリーの友』ホームページは2003年7月1日に誕生しました。

今月の夫人誕生
吉村君夫妻



今月のピアニスト
高岸 純子さん



今月の夫人誕生と本人誕生の皆さん

ニコニコBOX

高崎シンフォニーRC 金子 秀隆君 久しぶりのメイクです。宜しくお祈りします。

三井田 賢一君 本人の誕生日

橋爪 良真君 4/8は三越での五色龍王展が始まりますので、欠席いたします。4/13まで開催しておりますので、どうぞ御覧下さい。

鈴木 克男君 お陰様で25周年を迎えることが出来ました。これからも宜しくお祈り致します。

嶋方 徳郎君 早くも桜が見頃でした。

金井 功君 奥様の誕生日

柳澤 佳雄君 3/28～30台北の華陽ロータリークラブで10周年の打ち合わせをいたしました。

吉村 修二君 本人・奥様2人とも誕生月です。
鈴木 万佐夫君 すみません早退します。
岩佐 登志夫君 奥様の誕生日

4月8日(火)新潟南RC・高崎南RC ・高崎セントラルRC合同観桜例会報告

8日(火)は1年ぶりの新潟南ロータリークラブ・高崎南ロータリークラブ・セントラルロータリークラブ、3クラブ合同親睦花見例会です。

▲高崎駅まで新潟南メンバーをお出迎え



今年は全国都市緑化ぐんまフェアの開催があり高崎・前橋が会場となりました。



▲椿町暢神荘で昼食

新潟のメンバーは高崎到着後椿町暢神荘で昼食を済ませそのままとなし広場のメイン会場に行き見学をしてホテルメトロポリタン高崎での合同例会となりました。すでに顔なじみのメンバー

新潟のメンバーは高崎到着後椿町暢神荘で昼食を済ませそのままとなし広場のメイン会場に行き見学をしてホテルメトロポリタン高崎での合同例会となりました。すでに顔なじみのメンバー



▲水琴窟の音色を聴くメンバー



▲フラワーフェスティバル会場の見学

塚越君(南クラブ)のいけばなのなげいれパフォーマンス



▲原 浩一郎君より挨拶



◀笑顔のすばらしい皆さん



▶ 歓談する各メンバー

■論語より■

子曰く、躬自から厚くして、薄く人を責むれば、則ち怨みを遠ざかる。

孔子が言われた。責任を追及するとき、自分に対しては強く責め、他人に対しては軽く責めるようにすれば、怨みを買うことはなく、物事はうまくいくものである。よく責任をすぐ他人になすりつけ、言い訳をして、責任逃れをする人がいる。政、官、財界のトップの言動を見ていると、その人の置かれているポストと、その責任のとり方の一致、不一致によって、その人格のほどがわかるものである。個人と個人の間においても同様である。

※「声に出して活かした論語70」
三戸岡道夫より抜粋

■5月の例会予定

5月27日(火) 休会(定款5-1)

出席報告
(4月1日)

会員総数	35
出席計算会員数	32
当日出席者	24
会場出席率(%)	75.00

出席報告
(4月8日)

新潟南RC・高崎南RC・高崎セントラルRC合同観桜例会

会員総数	35
出席計算会員数	34
当日出席者	23
会場出席率(%)	67.65

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70
TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
例会 / 毎週火曜日 18時30分
E-mail:takasaki-cent@rid2840.jp